

昭和
100年
1926—2026

原本特別展示

外交史料が伝える、
激動の時代の記録

昭和外交 の記憶

昭和という激動の時代、
日本外交はさまざまな転機を経て、歩みを重ねてきました。
先人の努力の軌跡が刻まれた原本が、今ここに。

戦争抛棄に関する条約

サンフランシスコ平和条約

公開予定の原本

前期

- 戦争抛棄に関する条約
- 日満議定書
- 日独伊三国同盟条約
- 降伏文書

後期

- サンフランシスコ平和条約
- 旧日米安全保障条約
- 新日米安全保障条約
- 日ソ共同宣言
- 沖縄返還協定
- 日中共同声明

前期 9月 1日[火] ~ 10月10日[土]

後期 10月14日[水] ~ 11月28日[土]

※前期・後期で展示物が入れ替わります

開室時間 日曜・祝日を除く
10:00~17:30 (最終入場 17:00まで)

会場 外務省外交史料館展示室 **入場無料**



外務省外交史料館

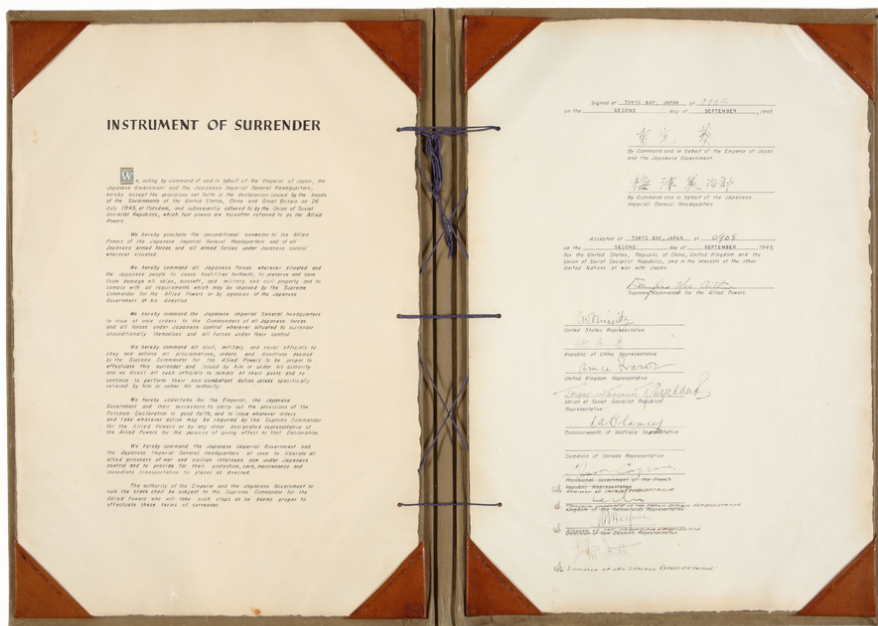
昭和外交の記憶

令和8(2026)年は、昭和元(1926)年から起算して満100年に当たります。本展示では、外交史料館が所蔵する条約書等を通して、昭和期の日本外交の歩みをご紹介します。激動の昭和を生きた先人たちの叡智と努力に思いを馳せ、現在にまでつながる平和国家日本の礎を築いた昭和の外交に学び、これからの日本のあり方を考えるきっかけとなれば幸いです。

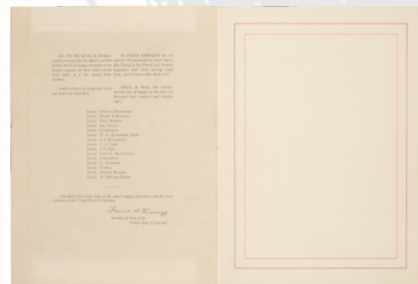
主な展示史料

前期 9月1日～10月10日 昭和外交の転換から降伏まで(昭和3年～昭和20年)

降伏文書(昭和20年9月2日 署名)



戦争抛棄に関する条約 認証謄本
(昭和3年8月27日 調印)



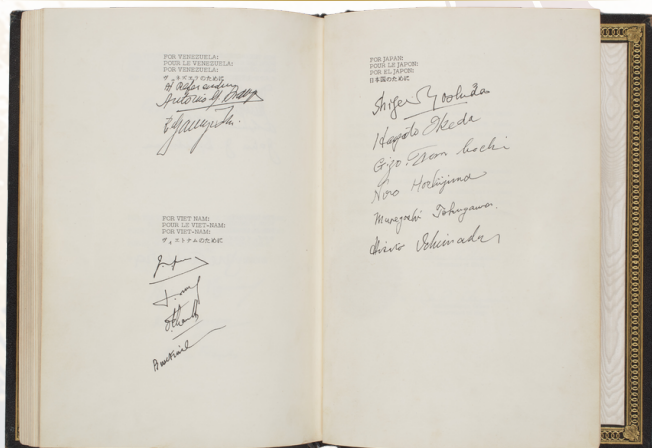
国際紛争解決のため戦争に訴えることを非とし、国家の政策の手段としての戦争を抛棄。不戦条約とも呼ばれる。

東京湾上に停泊するアメリカ戦艦ミズーリ号で、日本側全権重光葵外務大臣、梅津美治郎参謀総長が降伏文書に署名し、日本は連合国に降伏した。

※ほかに、「日満議定書」(昭和7年)、「日独伊三国同盟条約」(昭和15年)を展示予定。

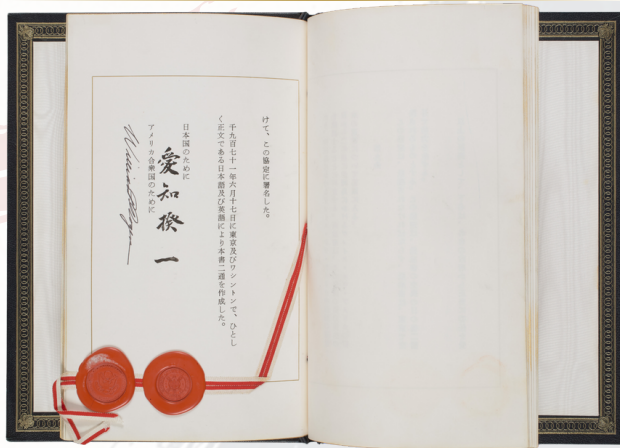
後期 10月14日～11月28日 国際社会への復帰と諸課題の解決(昭和26年～昭和47年)

サンフランシスコ平和条約 認証謄本
(昭和26年9月8日 署名)



サンフランシスコ講和会議の結果、49か国が署名した。日本の領土に関する扱いや賠償の方法などについて規定している。

沖縄返還協定 署名本書
(昭和46年6月17日 署名)



昭和44年の佐藤総理・ニクソン大統領会談で沖縄の施政権返還に合意、46年本協定の署名に至った。翌年5月15日に発効して沖縄は本土復帰を果たした。

※ほかに、新旧「日米安全保障条約」(昭和26年、昭和35年)、「日ソ共同宣言」(昭和31年)、「日中共同声明」(昭和47年)を展示予定。

外務省外交史料館展示室

東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー5階

電話番号:03-3589-0369

